ＯＢだより

第44号
発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局・広報部

第四十四回外大能

今年の外大能は、能楽『殺生石』、舞囃子『天鼓』、仕舞九番です。ＯＢ会からも十四番の仕舞出演をします。十二月八日（土）は是非、河村能舞台へお出かけください。



▶殺生石（イメージ）

（詳細は中面）

平成十九年度懇親会を終えて

八月五日（日）、ＯＢ懇親会が円山公園内『いふじ』にて開催され、昨年卒業の坂本さんが幹事を務めてくれました。お疲れさまでした。社会に出て頑張っているＯＢ・ＯＧが久々に集い食事を楽しみ、歓談するのは本当に癒されます。最後はカラオケで締めくくりとなり、あっという間に一日が過ぎました。出席頂いた皆さま有難うございました。

来年は四十五回外大能
そして三年後は創部五十周年

大きな節目を前にして

最近、他大学（能楽部ＯＢ会）の活動状況を耳にする機会がありました。年齢を問わず活発にＯＢ会独自の舞台を開催することを目標に活動しているＯＢ会があるそうです。一足飛びに実現出来ることではありませんがとても刺激を感じました。

ご存知の通り京都外国語大学能楽部は、来年が第四十五回外大能、そして三年後には創部五十周年という大きな節目を迎えようとしています。そんな状況を踏まえ、約１５０人のＯＢ会員を保有する今、会員一人ひとりの意識改革が求められる時期に来ているように思います。学生時代に能楽部で活動したことを思い出して頂き時間の余裕があればボックスを覗いてみたり外大能の地謡に俄か参加するなど・・・自由な形で能楽部との接点をつくってみてはいかがでしょう。時々は能楽部のことを思い出して頂いて生活のほんの一部としてＯＢ会への意識を持って頂きたい。そんな小さな行動や気持ちが大きな結束力になると思います。会員の皆さんが肩の力を抜いて気軽に参加してもらえるようなＯＢ会づくりに執行部も励みますのでご意見があれば是非お聞かせください。そして今から将来の発展を見据えて楽しく長続きするＯＢ会になるよう皆で育んで参りましょう。

会費未納の問題

年々、ＯＢ会員が増えているにも拘らず会費の集まりが悪くなっており、運営上非常に深刻な事態になりつつあります。未納の会員の方の一日でも早いご協力をお願い致します。

（脚注：イメージ写真は檜書店発行『観世』より）

ＯＢ会の諸先輩方へ。

部長　西村文香



二〇〇七年十二月八日(土)、第四十四回外大能を河村能舞台にて開催させて頂く運びとなりました。これもひとえに熱心な御指導をくださいます橋本礒道先生、橋本忠樹先生を始め、諸先生方、ＯＢの皆様方のあたたかい御支援、御協力の賜と、深く感謝致しております。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

また、今年の外大能は、能「殺生石」、舞囃子「天鼓」と仕舞九番、ＯＢの先輩方の仕舞が十四番となっております。今年も大勢のＯＢ、ＯＧの先輩方に御出演頂けますこと、大変嬉しく思っております。重ねて、感謝し、御礼申し上げます。

本年度は新入生が九人入り、非常に賑やかになりました。去年の春合宿第一では三、四人で練習していた事を思うと本当に嬉しく思います。今年の一回生が創部五十周年の年に、四回生になるのだと思うと、とても感慨深い思いになります。また、部員一同、本番に向け日々練習に励んでおります。良い舞台になる様、皆で頑張って参ります。

今後共、御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

御多忙中とは存じますが、一人でも多くの先輩におこし頂けますと幸いでございます。御来場をお待ち申し上げております。



平成十九年十二月八日（土）十三時始メ　河村能舞台
第四十四回 外大能 番組（簡略）

連吟　**橋弁慶**　部員一同

仕舞　**鶴亀**　都甲将史
蝉丸　小倉由佳梨
花月　服部裕香

敦盛　クセ　高山裕子
杜若　キリ　益田ちさと
大江山　福本光咲

経正　クセ　鶴見奈央
葛城　キリ　新井美貴
鞍馬天狗　菊池太希

招待出演　立命館大学能楽部

仕舞　**難波**　キリ　高尾智憲（ＯＢ）
井筒　塚田智恵（ＯＧ）
雲林院　クセ　杉森伸子（ＯＧ）
山姥　キリ　井上愛子（ＯＧ）

和布刈　松田陽一（ＯＢ）
班女　舞アト　星　裕子（ＯＧ）
鵺　兵道亮太（ＯＢ）

邯鄲　舞アト　土井智代（ＯＧ）
兼平　藤原敏起（ＯＢ）
松風　内田麻也（ＯＧ）
歌占　キリ　松田高雅（ＯＢ）

屋島　奥田圭一（ＯＢ）
富士太鼓　井上真一（ＯＢ）
笠之段　木村与宣（ＯＢ）

舞囃子　**天鼓**　西村文香

連吟　**菊慈童**　ＯＢ・ＯＧ

番外仕舞　**道明寺**　橋本雅夫
遊行柳　クセ　橋本礒道
野守　橋本忠樹

能　**殺生石**　前シテ　氏平ちせ
後シテ　岸本充雄

附祝言

★必ず足袋をご持参ください。
多数のご参加をお待ちしています。

能に挑む／「殺生石」

皆様への感謝を込めて頑張ります



殺生石前シテ　石井ちせ氏平

はじめに、この度貴重な機会を下さいました、礒道先生、忠樹先生を始めとする諸先生方、ご出演、ご協力いただきます先輩方に深く御礼申し上げます。

四年。一年いちねん外大能の舞台を踏むごとに能への、舞台への畏敬の念が深まり、私などがそれも、橋掛かりから舞台へ立たせて頂くことができるなど、畏れ多く本当に今日の日まで予想だにしませんでした。まだ、部室を覗いた頃の儘、漸く能への扉をそっと敲く気分です。それでも、自分の後ろに遅しく、温かい仲間が居り、立ち止まるわけには参りません。少しでもその向こうから差す光を見て欲しい、と思います。

先生からお許し頂いた「殺生石」は四年間で始めての切能です。それも、岸本と二人、ということで舞台へ対する互いの気持ちにずれが無い様、一つひとつ確認しながらのお稽古に努めています。幾重にも重なった能楽部という空間への時間や想念が呼吸を始め、脈打つまで頑張ります。皆様への感謝を込めて。

一人でも多くの先輩方に観て頂けますように

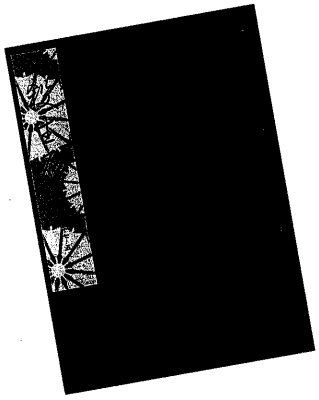


殺生石後シテ　石井充雄本岸

初めに本年度の外大能にも数多くのＯＢ・ＯＧの先輩方に御出演・御援助を賜りまして、誠にありがとうございます。先生から能「殺生石」のお話を頂いた時は「氏平と一緒に能ができる！」と感激したものです。

しかしながら、私は全くといっていいほどに動きの激しい切能は舞った経験がなく、不安も大きなものでした。いくらやっても自分の謡も型も聞き苦しい、見苦しい。暗闇を手探りで進んでいるようで何が正しいのかわからず、ただ必死で先生の御指導を反芻しました。辛くなって自分が見えなくなる時もありましたが、先輩の「殺生石、決まって良かったね！」「頑張ってね！」というお言葉や後輩達の「先輩の殺生石が見たいです！」「自分も殺生石したいです！」という言葉、そして先生から頂いた型付けが私に勇気をくれました。

何があっても最後までやり遂げる！後輩達に明るい未来を託すような結果を出したいと思います。そして、一人でも多くの先輩方にも…。



新ＯＢ会員紹介

★年度代議員(五十音順)



会員 No.139
内田麻也

この外大能楽部で四年間を過ごし、ＯＢ会に名を連ねさせて頂けます事を光栄に、そしてとても嬉しく思います。

私の大学生活にとって能はまさしく欠かす事の出来ない存在でした。大学に入るまでは見たことも触れた事もない能に夢中になり、必死で続けていた日々はとても不思議で、でもとても大事な日々であり、経験でした。ここで出会った方々、新しい知識や感覚は一生の宝物です。

卒業により京都を離れて数ヶ月が経ち、以前よりは随分と能からは遠ざかってしまいましたが、能楽部で過ごした日々は今でも懐かしく思い出します。その中でも、現役の時よりも一層強く感じている事があります。それは能楽部での人同士の絆の深さです。ＯＢの先輩方を見れば学生時代とは違い、それぞれ違う立場や環境で生活を送っているにも関わらず、顔を合わせれば年齢という垣根さえも越えて、一緒に舞台を作り上げる、また楽しい時間を過ごす。このあたたかい空気や繋がりは私にとって、ふっと帰りたくなる場所であり、いつも変わらずに受け入れてくれる大事な場所でもあると感じています。

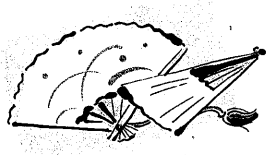
振り返ると、能楽部で過ごした四年間は素晴らしい思い出で溢れています。だからこそ現役部員達にも同じ思いをして貰いたいと切に思いますし、この先も能楽部やＯＢ会が栄えて欲しい。自分もその力になりたいと思っています。拙い文章ではございますが、私の挨拶とさせて頂きます。今後とも宜しくお願い致します。



会員 No.140
久世真美

昨年の外大能で現役を卒業し、今年度より新ＯＧとしてＯＢ会に参加させて頂くことになりました久世真実と申します。現役最後の外大能では、能楽「巴」の後シテを舞わせて頂きました。先生方をはじめ、諸先輩方、同回生の皆様、そして現役の皆様のおかげで本当に楽しく舞うことができました。この場をお借りして、お礼申し上げます、本当に有り難うございました。能楽部で過ごした四年間は私にとって本当に一生の宝物です。大学四年間という長いようで短い年月の中でこんなにも一生懸命になれるものと出会えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。一回生の初舞台での緊張感、二回生で大好きな曲を舞うことができたときの喜び、三回生での舞囃子初体験、四回生のお能で味わった達成感、卒業した今でもハッキリと覚えています。今でも能楽は私の中の大きな原動力となっています。社会人になり、仕事の泊まり込みで二日ばかり家に帰れないときでも、「高砂」を口ずさめば、たちまち元気になります！

私たちが現役の時にＯＢの先輩方が支えてくれた様に、今度は私たちもその一員となって先輩方が代々してくださっている様に現役の皆様のお手伝いをさせて頂ければと思っています。この部に入ってよかったと、私たちが感じたように、後輩たちもそう感じて卒業できるように少しでも何かしていきたいと思います。まだまだ至らぬところの多い未熟者の新人ＯＢ達ですが宜しくお願いいたします。





会員 No.141
高尾智憲

はじめ、僕がこの京都外国語大学能楽部に入部するきっかけは何だったか。それは自分が今も目指している職業に力になるのではないか…そのように考えていたことを覚えています。また、同じ目的で他の部活にも所属していました。現実には、その部活が力をつけるには役に立っていました。その為、僕は一度、能楽部を休部した時期がありました。当初の予定では、辞めるつもりだったことを覚えています。ですが今、このように四年間在籍し、このＯＢだよりに載せる原稿を書かせていただいています。

僕がここまで続けられたのは、上回生の方々・同回生の支えがあったからです。掛け持ちをしていたことで、数々の無茶や迷惑をかけてしまいました。四年間という「長い」期間ですが続けられてよかった、とはっきり言えるのが嬉しい。後輩、先輩のなかで辞めていく人を、僕達の学年も多少見てきました。僕自身も先輩の説得がなければ、短い期間しか能楽部に携わることができなかった一人です。

だからこそ、僕にとっては長い四年間でした。また、素晴らしい四年間であったと言いたいです。また、後悔の残る四年間でもあります。だからこそ現役の部員の皆様は同じようにならぬよう、部活動の基本「楽しむ」ということを忘れずに、楽しく、充実した四年間を過ごして欲しいと思います。今後も楽しめる能楽部が続くよう、今年からは新たなＯＢとして少しでも助力できるよう努めます。



会員 No.142
★塚田智恵

新しくＯＧの仲間入りをさせて頂くことになりました、塚田智恵です。今年の四月に能楽部を卒業し、ＯＢ会の一員として活動させて頂く事になりました。今、思い返しても能楽部で過ごした四年間は本当に充実したものだったと思います。クラブ活動を通じて、多くの事を経験することが出来ました。また能楽部で大切な友人、先輩、一生尊敬できる先生方と出会えた事は、私の大きな宝ものです。ＯＢ会に入る事で、能楽部で知り合った多くの方々との関係をこれからも続けていける事を、心から嬉しく感じています。人生において四年間という年月は本当に短いものなのかも知れません。しかしＯＢ会に入り、この関係を続けていく事で、能楽部での四年間が自分にとって、より大きな意味を持ってくるのだと思っています。

私も現役時代に沢山の先輩方からのご支援や励ましを頂きました。今度は自分が能楽部の現役の人たちにそれを返していく番です。多くの先輩方からもらった暖かい気持ちを忘れずにＯＢ会の一員として能楽部の活動を、支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

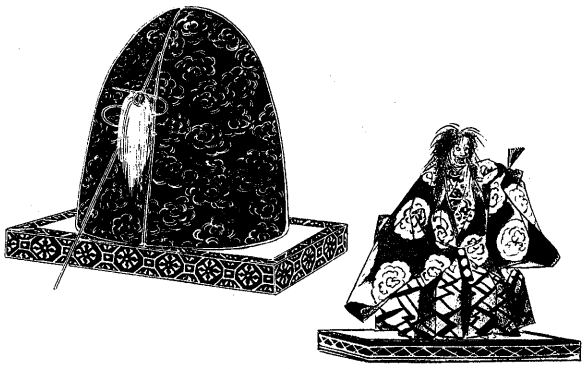


会員 No.143
星裕子

まず、この度ＯＢ会に入会させて頂けますことを、橋本礒道先生、橋本忠樹先輩、そして先輩方に心より感謝申し上げます。

京都だからこそ、何か人とは違ったことをしたい。外国語を勉強するなら、日本の文化も学びたい。そう思って入部した能楽部。私は同回生よりも半年程遅れて、夏休みからの入部でした。一日も早く追いつかなければならないと焦っていた私に、先輩方は「大丈夫、大丈夫」と温かく指導してくださいました。

それから三年半。私は大学生活のほとんどをこのクラブで過ごしてきました。毎日九時過ぎま





でＢＯＸに残り、お稽古をしたり皆と話したり。その後に一緒に夕飯を食べる、ということが私の日課でした。

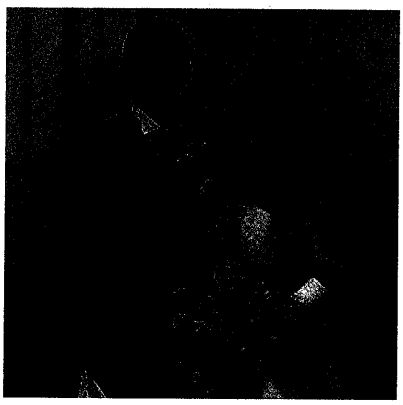
昨年の外大能では、勿体なくも能楽「巴」の前シテを努めさせていただきました。揚幕が上がった時から先のことは夢の様に感じられます。しかし、舞台が終わり先生に面を外して頂いた瞬間、なぜか涙が一気に溢れ出してきました。ただただ感謝の気持ちで一杯だったことを鮮明に覚えています。

大学生生活で見つけた大切なものは、「人と人とのつながり」「絆」「感謝」。先生方、先輩方、後輩達、そして同回生と過ごせた時間は、私の宝物です。だからこそ、今度は私がＯＧという立場でクラブのお役に立てれば、と思っております。

まだまだ未熟者ではございますが、ＯＢお稽古会を始め、様々な行事に参加させて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

祝　ご結婚

安元真理さん（旧姓　石水）



二〇〇〇年度卒業の石水です。平成十八年九月三日に式を挙げて、今年の一月二十日に主人のお里の福岡で披露宴をしました。これからも二人三脚でお互いの夢の実現を目指します！



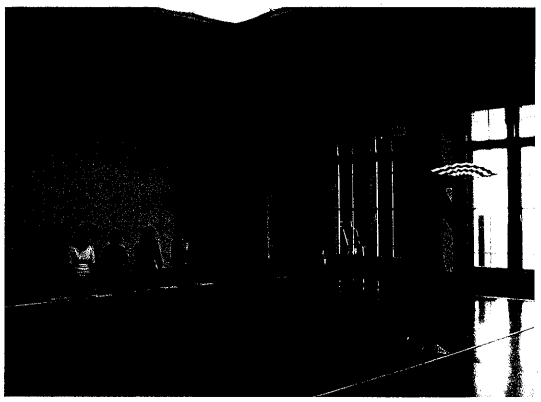
唐木啓子さん（旧姓　須田）

二〇〇一年度卒業の須田啓子です。今年二月十七日に結婚して唐木啓子となりました。披露宴では島谷会長をはじめ出席してくださった能楽部ＯＧの皆様に『高砂』を謡って頂き、能楽部ならではのプレゼントに大変感激致しました。年明けには新しい家族も増え、私も母になります。今後とも宜しくお願いします。



永くお幸せに！

特集 OB・OGの『練習頑張ってます!!』



今年の外大能に参加するＯＢ・ＯＧは仕舞出演が十四名、地謡のみの参加者を含めると総勢十六名の参加者一人ひとりに出演する感想を伺いましたが今回は練習風景を紹介したいと思います。

ご覧の写真は、お忙しいスケジュールの合間を縫ってご指導頂いている橋本礒道先生のお稽古会です。先生の熱心なご指導に緊張するのは現役時代と同じ…いや、それ以上です。とにかく「覚えが悪い～！」「体が動かない～！」と皆が口にしています。…皆ではありません。（笑）



礒道先生の練習、有志参加の忠樹先生のお稽古会、さらにそれ以外にもＯＢだけが集まって練習しています。今年は松田陽一くんが練習場所の予約をしてくれています。四条烏丸にある京都ウイングスというところです。出来るだけ現役の邪魔をしないように、という考えで探してくれた場所です。

借用時間が三時間という限られた時間を有効利用するように練習内容を組み立てます。最初の三十分は個々人が自由に練習し、次に番組に沿って一緒に練習をするといった具合です。

正直、皆さん非常にまじめです。大まじめです。その場に居ると現役時代を彷彿とさせる熱心さに心を打たれます。でも実は普段練習が出来ない上に、舞台の怖さを充分知っているからこその熱心さなのだと思います。





皆各々に仕事があり私生活がある中、こうやって集まって舞台を目指す姿はとても素晴しいと思います。ちょっと今は参加出来ないと思っているあなたも、いつかこの写真の中に写る日が来るはずです。是非、参加してください。いつでもウエルカムなＯＢ会ですから。



執行部からのお知らせ

■平成二十年は執行部改選

来年、**平成二十年は執行部改選**です。総会のご案内を郵送致しますので必ず返信頂き、多くの出席をお願い致します。

ご案内



『OB会執行部宛の専用アドレス』

➡ gaidainoh@yahoo.co.jp

京都外国語大学能楽部OB会執行部宛の専用アドレスです。
ご意見やお問い合わせなどございましたらご活用ください。

『京都外国語大学能楽部のホームページ』（サイト名）

➡ http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役が管理しているサイトです。部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非一度ご覧ください。

【現役執行部の紹介】※（　）は回生

部長兼会計／西村文香（3）
副 部 長 ／益田ちさと（1）
外大能実行委員／新井美貴（1）小倉由佳梨（1）
外大能会計／都甲将史（1）
渉 内 ／鶴見奈央（1）
渉 外 ／福本光咲（1）
情 宣 ／服部裕香（1）
連盟担当／菊池太希（1）高山裕子（1）

『観世流能楽師 橋本忠樹のホームページ』（サイト名）

➡ http://www.k2.dion.ne.jp/~t7d7/index.htm

橋本礒道先生とご一緒に外大能楽部講師としてご指導くださっています橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界にまつわる様々なお話が分かり易く解説されています。興味深いコンテンツが盛り沢山です。中でも、徒然日記は必見です。

会計局から　会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０-１-５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会

編集後記

毎年この時期になると会報誌発行の焦りと共に何故か参加不参加に拘らず外大能本番の緊張感に包まれます。そんな微妙に清々しい気分でこの冊子を作成しています。大切な情報は勿論ですが、できるだけこのＯＢだよりが常に新鮮な話題を発信する会報誌になるよう目指していますので皆様からの新しい企画や提案をお待ちしています。

《ＯＢだより第44号》
◎編集責任者　藤原敏起
（編集委員／安元真理・唐木啓子）
◎発行責任者　島谷直美